

# 2020 年度 学術研究発表ブラッシュアップセミナー

## 『わかりやすいスライド発表のコツ』

公益社団法人 日本放射線技術学会 近畿支部  
学術委員会

### 『わかりやすいスライドを作る意義』

都島放射線科クリニック 上本 賢司

私がスライド発表において心がけていることはたった1つ，“聞いてもらう人にとって聞いてよかったと思える時間になること”である。そのためには、与えられた時間のなかで、伝えたいことをいかにうまく伝えることができるかが大切で、スライドはその助けとなる。スライドの完成度が高ければ、聞き手にとってわかりやすく、また、話し手にとっては伝えやすくなる。私が考えるわかりやすいスライド発表とは、どんなに難しい内容であっても、その分野に精通していない人にさえも伝えたい想いが伝わることである。そこに、わかりやすいスライドを作る意義はあると考える。本セミナーでは、私がスライドを作るときに心がけていることや工夫している点、ブラッシュアップのコツなどを中心にお話しさせていただき、“聞いてよかったと思える時間”にしたいと思う。

### 『わかりやすい図の作り方』

大阪国際がんセンター 鷲尾 颯

私が新たな研究を始める際、まず一番に考えることは「どんな図をつくりたいか、どんな図が効果的に研究の意図を伝えられるか」です。そこから図を作成するのに必要なデータ収集や文章作成を始めます。論文検索する際は、文章を読むよりも先にどんなデータが扱われているかを把握するために図表を確認しますし、時間の短いスライド発表においても印象に残るのはやはり図表だと思います。このように、図表は研究発表の「顔」といっても過言ではないほど重要なものです。Excel で作成した図表をそのまま貼り付けるだけではもったいないです！色や軸、フォントの設定を変えるなど、ちょっとした修正でわかりやすい図にすることができます。また、わかりやすさはもちろんですが、オリジナリティのある図表を目指すと研究が楽しくなるかもしれません。

本講演では、私がスライド発表や論文作成を通じて学んだことや経験豊富な上司に伝授してもらった図表作成の実践的なコツをご紹介します。

## 『わかりやすいスライドの作成方法について ディスカッション』

大阪国際がんセンター 上田 悦弘

わかりやすいスライド作成は、初学者にとってはとても苦労される場所だと思います。身近に研究発表の経験豊富な方や、スライド発表についてしっかり教育された方がいないと、勉強する機会も少なく、結局自分よがりのスライドになってしまいます。そこで、近畿支部では、スライド作成について一例を示しながら、ディスカッションする時間を設けました。スライド作成と言っても、十人十色で答えがありません。ただし、コツや注意しなければならないところはいくつかあります。実習ではありませんが、スライドを見ながらディスカッションできればと思います。皆様の研究活動の一助になれば幸いです。